

日野町奥之池地区は、周囲を山で囲まれ、戸数23戸の狭小な集落です。ここ、奥之池も中山間地の例に漏れず、十数年来獣害に悩まされてきました。

日野町有害鳥獣被害対策協議会では、集落の実態に応じた対策が必要となりました。獣害支援隊によるバッファー



MDC恒例の研修会を、滋賀県日野町奥之池を訪問しております。日野町有害鳥獣被害対策協議会では、同地区を総合的な「サル対策モデル地区」として指導しているそうです。現在実践されている地域犬の運用状況や、バッファーゾーン設置や不要果樹伐採などにまつわる苦労話を聞かせていただきました。滋賀県日野町は、地域ぐるみでモンキードッグを飼育し活躍している全国的に珍しい地域です。



(写真上)研修会風景

集落で飼うモンキードッグ



編集・発行
山村 準
tel:0595-63-1725
Email
jyun.y@asint.jp

ゾーン設置と合わせた総合的なサル対策モデル地区として指導しています。講演で「防護柵の設置が獣害対策の終わりではなく始まりである」と話されていました。印象にのこっています。

矢川でサル被害

モンキードッグには雑種のメスが最適で、しかも子犬から訓練するのが最もよい方法だそうです。奥之池地区では譲渡犬を、2010年11月～2011年4月スクールで訓練。2011年4月認定され、現在に至っています。訓練経費は日野町有害鳥獣被害対策協議会。日常経費（工賃代・予防注射・避妊施術代など）は、集落負担。（年間約10万円）

飼育者一人を決め、集落全員の犬として集落の諸行事への参加、散歩などを実行しています。奥之池では、モンキードッグは対策メニューの一つと考えており、複数の対策を長期的に行うことが大事だといわれています。

（写真）地域犬「ハナ子」と飼い主さん

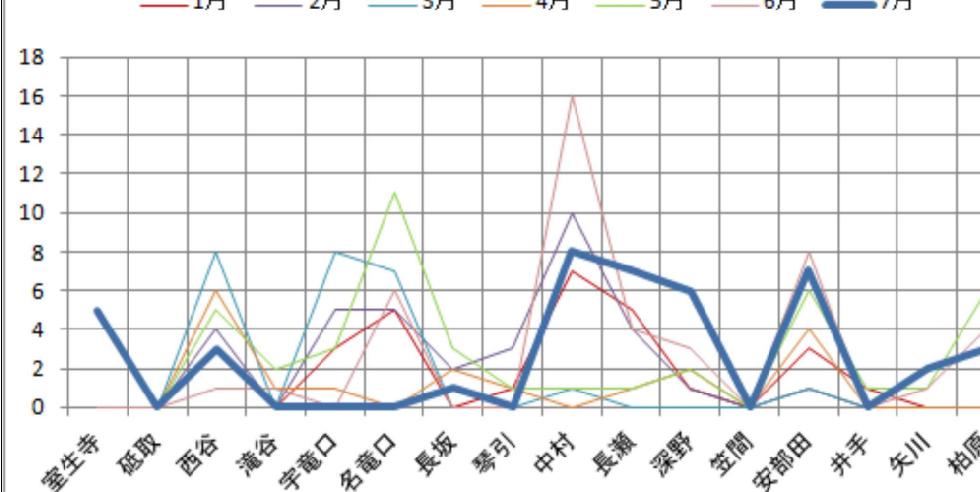
矢川でサルの被害が出たのは久しくなります。ここ3年ほどはMDのお陰でハナレザルをたまたま見かける程度で、被害らしい被害はなく穩便だつたのですが、だつたのですが、7月5日早朝、遂に来ました！

B3受信。

トウモロコシ全滅。サツマイモ、トマト、カボチャなど、全ての夏野菜を荒らしています。II（写真）

早朝にもかかわらず畠山さん（団十郎）が駆けつけてくれました。

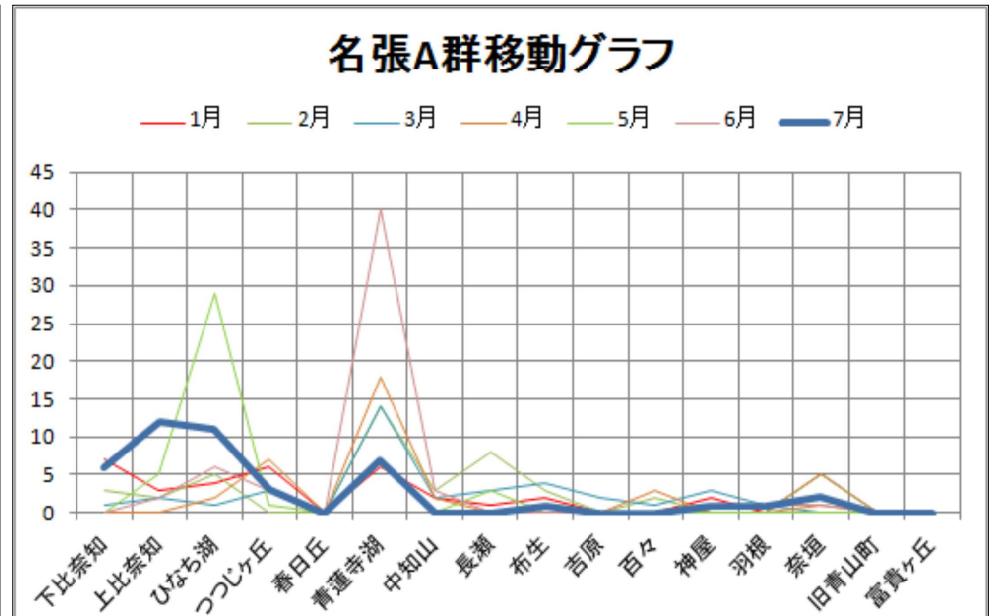
以上に、精神的な打撃の方が大きく、生産意欲の



奥之池地区では、集落全体を巡る延面積4haの緩衝帯を設置し、後々の管理対策を踏まえ地権者の了解を得ながら地域共存の公園化をめざしています。竹林伐採跡の竹剤注入が簡単で効果的と話されました。（徐竹剤は市販されている）。

奥之池地区では、集落全体を巡る延面積4haの緩衝帯を設置し、後々の管理対策を踏まえ地権者の了解を得ながら地域共存の公園化をめざしています。竹林伐採跡の竹剤注入が簡単で効果的と話されました。（徐竹剤は市販されている）。

奥之池地区では、集落全体を巡る延面積4haの緩衝帯を設置し、後々の管理対策を踏まえ地権者の了解を得ながら地域共存の公園化をめざしています。竹林伐採跡の竹剤注入が簡単で効果的と話されました。（徐竹剤は市販されている）。



イノシシに注意

稻の出穂時期になり、山に住むイノシシなども田畠に来て活動する季節になりました。昨年被害があつた圃場は特に注意して下さい。

名張B群移動グラフ

